

佛教ぎふ



発行 平成16年7月1日
岐阜県仏教会事務局
岐阜市西野町3丁目1番地
岐阜西別院内 TEL 266-7803
編集 出版委員会
1部送料共 80円

仏教とお話は火

ある週刊誌に「今は仏教ブームで、書店に仏教コーナーができて、煩惱に悩む人々が、すがすがしく仏教書を手にとる」と掲載されていました。

書店では、天台宗の瀬戸内寂聴尼、哲学者の梅原猛氏が解説する豪華本『仏教を歩く』と云うグラビアの三十巻物が読まれたり、作家の五木寛之氏がテレビのNHK教養講座で、親鸞・蓮如の教え、石山合戦・かくれ念仏等をテーマにし放送したりと、静かな仏教ブームが起こっています。

また、学校では本の読み聞かせを行って、キレる子の防止に努めているようです。子ども達が、お話を沢山接することによって、佐世保市の小学校での同級生殺害事件のよ

うなものも、少しは防止できるのではないかと思います。

そこで「毎月8日はこころの日」運動の推進に当たって、心の琴線にふれる良い本や話を、人に語る集いのようなものを進めてはどうだろうか。人生を変えたお話を

二話紹介しよう。

◆◆◆◆◆
「みんなみんな、ありがと」
広島のある女子高生は、小児麻痺により足と言語の障害があつて、いじめを受けていました。或る日、その学校でクラス対抗の水泳大会が開かれることになりました。彼女のクラスのいじめグループの番長と子分達が笑いのもののように、クラスの代表を彼女に決めてしまいました。彼女にとつてとてもつらいものでした。七メートル程しか泳げないし、さらにつらいのは、細く曲った足を全校生の前にさらけ出さなければいけなかったからです。

「念仏分隊」
厳寒のシベリアのイルクーツクの炭鉱地帯に抑留させられ、採炭作業に服していた日本兵捕虜のある分隊の話である。冬の寒さは氷点下六十度。石炭は一トンのトロツコに満載して一日二人で十三回運び出すのがノルマ。食事はコーリヤンを塩水で煮て、どろどろに煮えたカユを一食一杯、一日三度支給されるだけである。まさに地獄と餓鬼の世界であった。皆は腹がへると口シア人と物々交換をする。手ぬぐい、靴下、靴、鞆。厳寒のシベリアで自分の物を交換に出すことは、死を意味する。しかし、背に腹は代えられず、他人のものを盗み返す。ついに盗まれれば盗み返す。ついに

收容所は泥棒ばかり、友人さえも信用できない有様となつた。皆がたと思ふ事は、日本に帰りたいと云う事だけであつた。

そんな或る日、私の分隊の太田君という人が「分隊長はお寺さんだそうですね。仏さまの話をしてくれませんか。仏さまの話でもひもじさを忘れられるかもしれない」と云つた。それならと仏教の話をするようになると「そんないいことがあるなら俺達にも聞かせてもらおう」と隊員である十人全員が聞いてくれるようになった。経本も念珠もないが、話は現実の問題であり血の出る切実な叫びが語りあわれた。私は、こんな真剣な話をした事がなかった。分隊員はみんな素直に聞いてくれ、いつの間にかやたら、皆が小声で念仏をするようになった。そして「俺達はみんな日本人だ。お互い助け合つて生き抜き、一緒に日本へ帰ろう」と一生懸命働いた。

体力はもう限界に来ていた。これ以上生きるには、精神力しかない。あちらこちらで斃

縁起

「縁起」とは「すべての存在は無数無量といつてよい程の因縁によつてあり得ている」という仏教の基本思想を表わす重要な用語であるが、私たちの日常において用いられている仏教語の中で、これほど誤解されて用いられている言葉は珍しい。

郡上市仏教会
会長 石神 明

「こころの日」に
読み聞かせを...



「なに想う...」

旋風打

▽日本画を見るとよく建造物や景色が横にたなびく雲に浮ぶように描かれる画風がある。
▽中国の山水画がそうであるように、それは写実ではなく理想の姿、かたちを表現するもので現代の日本画にも受けつがれているのではなからうか。
▽現実の環境はごみごみしていて周囲にさまざまなものが混在するのであるが、それらを捨象して日本画の世界もたらされる。

▽時にあるいは木立にかまれていると百千の木の葉が光りの明暗に無数に変化しあい、風にゆらぎあい心が一つになつてこの世界とも思えないいい知れぬ心ちよさが訪れることがある。
▽阿弥陀経には「極楽ではそよ風が吹きわたる多くの宝の並木や宝の網をゆり動かして美しい音色をただよわせている。その響きは一時に百千種の音楽をかなでているように、その音色を聞くものは誰でも自然に仏を念じ、法を念じ、僧を念ずる心を起こすようになる」とある。

▽そこでは仏みや法や僧に縁のないものも自然に仏や法にふれ、ひき入れられていくのである。
▽真夏の暑い日に涼しいそよ風が吹いた時「極楽風」と呼ぶが、そうした味わいにつながるものである。
▽理想の姿、現実を超えた世界を身近にうけとめ味わつていく、そうした生き方もあるのではなからうか。

(藤田)



「こころの日」推進運動用ステッカー

「こころの日」推進運動用ステッカー
いよいよ水泳大会の日が来ました。ピストル

盗まれれば盗み返す。ついに

ご案内

正信偈講座開かれる
(7月開講)

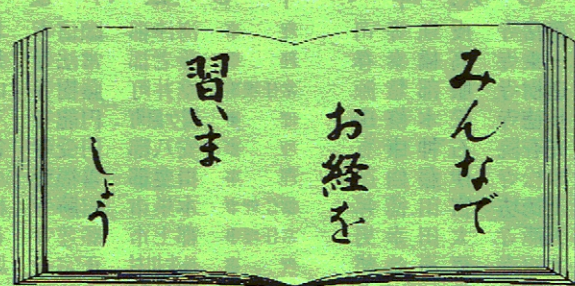
日時：毎週第2・第4木曜日
午後3時30分より
午後5時30分まで
会場：岐阜中日ビル(柳ヶ瀬)
TEL 058-265-2531

講師：橘 正信師
(円勝寺住職 本巣市金原)

この度、柳ヶ瀬に完成した岐阜中日ビル内中日文化センターにて、橘 講師が「この混沌とした世界状況の中で、正信偈は親鸞聖人が全人類に発せられた、いのちとは何かという大問題の答えの書であります。」という思いから開講されます。

ぜひとも気楽に参加して下さい。
(連絡先 中日文化センター)

お申し込みは
お近くのお寺又は
檀信徒会役員宅へ
習いませう
お経を
みんなでお経を
夏やすみには
明るく家庭を
きずくために
祖先を敬い
父母を大切に
する



夏やすみには

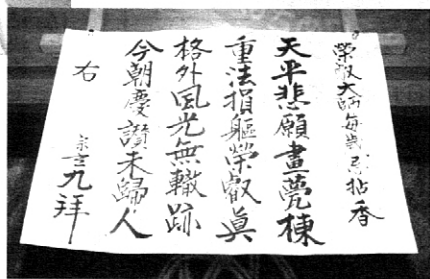
明るく家庭を
きずくために

祖先を敬い
父母を大切に
する

主催
●お経を習おう運動推進本部
岐阜県仏教会・檀信徒会
協賛
●全日本仏教会
健全な青少年を育てる会

栄叡大師顕彰法要

奈良時代の高僧鑑真の来日に尽力し、中国で亡くなった美濃出身の遺唐留学僧・栄叡(ようい)大師顕彰法要が六月十二日、美濃加茂市伊深町の正眼寺で営まれた。寺町研山県仏教会会長、澤田榮治檀信徒会会長代行ら関係者



山川宗玄老師の香語

約七十人が参列、焼香し大師の遺徳をしのいだ。

法要後、山川宗玄老師が法話され「今の時代こそ、日本のためにわが身を顧みず中国で苦勞した栄叡大師の姿を見直すべき」と語り参加者は熱心に聴きいつていた。その後、精進料理の御齋がふるまわれた。

薬師寺三役(岐阜県出身) 就任祝賀会

安田暎胤管主(岐阜市)、山田法胤副住職(旧根尾村)、村上太胤執事長(各務原市)の三人が奈良・薬師寺の三役に就任し、3月14日、岐阜グランドホテルで「薬師寺美濃三人衆祝賀会」が開かれ、薬師寺信徒総代の塩川正十郎前財務大臣、梶原拓知事、杉山幹夫岐阜新聞・岐阜放送社長ら、各界の関係者約650人が参加した。

なお、安田暎胤管主は、現在全日本仏教会副会長も務めている。

今年で九回目となるが、いまだに多くの参詣者が絶えない。仏教界の面目であろうか。

各地の動き

恵那市仏教会

○六月十六日(水) 恵那市仏教会 創立五十周年記念大会 於 恵那市文化センター 松本修康会長が「和合の精神を」と挨拶。藤井日光全日本仏教会会長、寺町研山岐阜県仏教会会長、森川正昭恵那市長らの祝辞、蓮の花を咲かせよう運動」の創始者、協力者の田中春雄氏、三宅洋志氏に対する表彰などがあり、その後、飛騨千光寺住職 大下大圓師の記念講演「いのちにより添う 仏教の言葉」、仲里尚英さん(沖繩)のオカリナ演奏、崎原真弓さん(沖繩)が唄を歌った。 六百名参加

中津川市仏教会

○三月十五日(月) 市仏教会・檀信徒会総会 五十余名参加 於 デイア中津川花まつり 於 にぎわい広場 四年前よりイベント形式にした結果、幼稚園・保育園児ら約六百五十名、福祉施設の入居者や市民約百名が参加。法要の後、仏教会長の法話に耳を傾けた。 名刹寺院参拝 川崎大師、柴又の帝釈天、上野・寛永寺、芝・増上寺 (房総・鴨川温泉泊) 五月二十七日(木) 総会 四十名参加 六月二十二日(火) 物故者追悼法要 於 西別院香光殿 ☆本荘校区 五月八日(土) 花まつり 白象の巡行(校区一円) 法要・お話・人形劇等

白川町仏教会

○三月二十九日(月) 第三十四回仏教会総会 於 白川寺精舎 四月八日(木) 花まつり甘茶供養法要 (町内巡行) 八月十七日(火) 青少年緑陰禪の集い研修会 於 臨川寺精舎 八月十八日(水) 天心白菊ノ塔法要 (飛騨川バス事故慰霊)

美濃市仏教会・檀信徒会

○三月二十四日(水) 八月一日(日) 九月二十二日(水) 川端地蔵尊春彼岸法要 (水難予防) 五月七日(金) 午前八時より托鉢 (美濃市市街一円) 五月十三日(木) 花まつり(市内巡行) 清泰寺より幼稚園・保育園園児ら百五十名参加 六月二十五日(金) 午前八時より托鉢 (市街一円) 七月二十六日(月) 夏期講座 シベリア抑留により両足切断、復員後の苦難を「すわ

法要団員募集

サイパン玉碎60回忌・南冥堂建立15周年・平和の梵鐘安置10周年

サイパン・グアム3泊4日の旅

平成16年10月18日(月)~21日(木)

詳細は仏教会事務局まで



今号より活字が 大きくなりました。



04.05.07

暑中お見舞い申し上げます

- List of names and titles of Buddhist leaders and members from various temples and associations, including Gifu Buddhist Association, Nishio Buddhist Association, and others.